

4年間、皆さんと共に 頑張りました 協働改革プランの主な取り組みと成果

4年間で大きな効果

平成15年度から18年度まで取り組んできた協働改革プランの実施結果がまとまりました。

内部努力の取り組みでは、職員の退職金や期末勤勉手当削減などの人件費圧縮に努めたほか、青少年科学館や水族館など指定管理者制度の導入をはじめとする事務事業の見直しで、計画額を約13億8千万円上回る結果となりました。これにより、収支のバランスが取れた予算を組むことが可能となっています。

また、市民自らの主体的な取り組みとして、地域の公園・道路などを住民の力で清掃・美化する、「まちピカ」パートナーをはじめ、図書館や成人祭の運営など、さまざまな市の施設や事業にボランティアの方々に参加し、市民と行政の取り組みを通じて、協働のまちづくりがスタートしました。

年度ごとの削減計画と実績

(単位:万円)

区分	15年度	16年度	17年度	18年度	合計
削減計画額	1億600	8億6,750	9億7,970	9億8,610	29億3,930
削減実績額	1億1,040	14億3,850	11億7,750	15億9,440	43億2,080
計画を上回った額	440	5億7,100	1億9,780	6億830	13億8,150

実施項目ごとの削減計画と実績

(単位:万円)

実施項目	削減計画額	削減実績額	取り組んだ主な内容
市民協働	2,470	4億4,110	<ul style="list-style-type: none"> 除雪出動基準の見直し 医療助成制度の見直し 市民活動センターの開設 まち「ピカ」パートナーによる公園、道路の清掃
行政システムの改革	2,190	1億2,540	<ul style="list-style-type: none"> 青少年科学館や水族館などの委託 職員数の縮減 児童館や総合福祉センターなどの開館時間見直し
財政構造の改革	7億1,490	8億5,150	<ul style="list-style-type: none"> 奨励的補助金の廃止 滞納整理の強化 給料・各種手当の見直し 類似事務事業の統合
サバイバルへの緊急対策	21億7,780	29億280	<ul style="list-style-type: none"> 退職金や期末勤勉手当の削減 建設事業の見直し 補助金の定率削減 内部管理経費の削減
計	29億3,930	43億2,080	



協働改革プランと自治体改革プランって？



第5次行財政健全化方策「行政改革プログラム2000」(平成12年度から平成21年度までの10年間)で、前期(12年度から14年度)、中期(15年度から18年度)、後期(19年度から21年度)に分けて実施計画を策定し、その、中期実施計画を「協働改革プラン」、後期実施計画を「自治体改革プラン」として、行政改革に取り組んでいます。

平成19年6月に地方財政健全化法が制定され、一般会計だけでなく国民健康保険会計などの特別会計、水道会計や病院会計などの企業会計、第三セクターの債務保証など、さまざまな角度から、市町村の財政健全度を判断することになりました。

地方財政健全化法の基準は、平成20年度決算から適応されますが、市では、行政サービスの低下を招かないよう、今後も自治体改革プラン(計画期間は平成19年度から21年度まで)により、市民の皆さんと共に行政改革とまちづくりを推進していきます。今後ともご協力をお願いします。

地方財政健全化法に対応するため、行政改革とまちづくりを同時に推進します

協働改革プラン、自治体改革プランの詳細はホームページをご覧ください。

《詳細》 職員課 ☎2236 <http://www.city.muroran.lg.jp/main/org1500/gyoukaku2.html>